※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3005

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	(学)生活創造デザイン	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし（自主教材）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○実生活に身近な科目として興味を持ち、基礎的な知識と技能を身に付けましょう。
○この先のライフステージで起こる様々な課題を見通し、生活を創造できるよう、学んでいきましょう。
○学んだこと、考えたこと、身に付けた技能を実生活に活かし、自立を目指しましょう。

2　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を身に付ける。

（１）　マナーや伝統などについて、生活を主体的に営み地域社会とかかわるために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。
（２）　家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。
（３）　様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地域や社会との関わりについて理解を深め、生活の質を向上させるに必要な知識ついて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期（中間考査まで）	生活の中のマナー	・ビジネスマナー ・食のマナー ・和のマナー	a:マナーの歴史や基本的な知識を身につけることができるとともに、基本的なマナーを身につけることができる。 b:場面に応じて必要なマナーを適切に考えることができる。また、適切でないマナーの問題点を考察することができる。 c:よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活を創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査 成果物	授業観察 ノート
	基礎縫い	・刺し子のデザイン ・作品制作 ・作品の評価	a:手縫いやミシン縫いについて基本的な知識や技能を身につけることができる。 b:被服の機能性や快適性について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして生涯を見通して生活の課題を解決する力を身に付けている。 c:被服の機能性や快適性について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活を創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査 成果物	授業観察 ノート

※令和４年度以降入学生用

前期（中間考査以降、期末考査まで）	季節のしつらい	・ペーパークラフト （切り絵、立体絵、ちぎり絵等）	a:季節の行事やしつらいについての知識を身につけることができる。ペーパークラフトの基本的な制作方法を理解し、技術を身につけることができる。 b:季節に合わせた供え物を考案し、室内のインテリアをデザイン・表現することができる。 c:伝統行事について、課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善したりして、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活を創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査成果物	授業観察ノート
	行事食・伝統食	・行事食 ・伝統食	a:行事食や伝統食についての知識を身につけることができる。 b:行事食や伝統食の地域差について考察することができる。 c: 行事食や伝統食をとして日本文化について興味・関心をもち、課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善したりして、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活を創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査成果物	授業観察ノート
	家族や地域で暮らす	・乳幼児期 ・青年期 ・高齢期 ・家族と社会 ・ともに生き、支えあう社会 ・おやつ作り	a: 乳幼児期や青年期の心身の発達と生活、親の役割、高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や看護について知識を身につけることができる。人や社会とかかわるための基本的な技能を身につけることができる。 b:乳幼児期・青年期・高齢期のそれぞれについて地域社会との関わりについて、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改	定期考査	定期考査成果物	授業観察ノート

※令和４年度以降入学生用

			善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして生涯を見通して生活の課題を解決する力を身に付けている。 c: 家族と地域社会との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活を創造し、実践しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度